

2030さいたま

輝く未来と希望のまちプラン

さいたま市総合振興計画 基本計画

2021 — 2030

令和5年度改定版



2030さいたま
輝く未来と希望のまちプラン

さいたま市総合振興計画 基本計画

2021 — 2030

令和5年度改定版

— ともに描く 輝く未来へ —

SAITAMA CITY MASTER PLAN 2030

改定にあたって

さいたま市が指定都市に移行して20年が経過し、この間、まさに首都圏有数の大都市にふさわしい都市の基盤を築いてまいりました。

令和4（2022）年4月の市議会臨時会において、本市誕生から30年となる令和13（2031）年度を目途に本庁舎をさいたま新都心へ移転することが決定し、さいたま市の輝かしい未来に向けた、大きな一歩を踏み出しました。

本市誕生の象徴であり、市の中心に位置するさいたま新都心に都市経営の拠点である本庁舎を移転整備することは、本市全体の更なる発展に寄与し、ひいては本市が目指す将来都市像である「上質な生活都市」、「東日本の中枢都市」の実現に資するものであります。

本市の更なる発展の可能性を「2030さいたま輝く未来と希望のまちプラン」に反映させるため、このたびの改定を行いました。

本市の2つの「都心」が、それぞれの特徴や強みを生かすことで機能分担を図りながら、都心間の連携を強化することで、東日本の中枢都市の顔となる魅力と活力を備えた拠点形成を図るとともに、広域的なネットワークの形成を支える都市軸の強化をすることで、全市的な発展を目指してまいります。

21世紀半ばを見据えた「さいたま市の新時代」という次のステージへと飛躍するべく、本計画をこれからの都市づくりの羅針盤として、一步ずつ着実に歩みを進め、本市の未来を全力で切り拓いてまいります。今後とも市民や事業者等の皆様の一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。



令和6年2月

さいたま市長 清水 勇人



- ▶ 本計画書中に頻出する専門用語や分かりづらい用語については、*を付した上で巻末に解説をまとめていますので、本編と併せて御参照ください（なお、一度しか用いない用語等については、*を付した上で当該ページの末尾に解説を掲載しています。）。
- ▶ また、出典等を示す必要がある部分には、該当部分に番号を付した上で当該ページ末尾に解説を掲載しています。

各部の構成

本計画は、「新たな都市づくりに向けて」「計画の構成と推進」「各分野の政策と施策」「各区の特性と将来像」「質の高い都市経営の実現」の5部から構成されています。

第1部 新たな都市づくりに向けて

【1～44ページ】

本市のこれまでの歩みを踏まえ、21世紀半ば（おおむね令和32（2050）年頃）を見据え、本市がはぐくんできた魅力や地域資源を更に生かし、未来に引き継ぐための持続可能な都市づくりを進めるため、本市が目指す将来都市像や都市づくりの基本理念、将来都市構造など、長期的な将来ビジョンを示しています。

第2部 計画の構成と推進

【45～104ページ】

本計画の構造や計画期間について示すとともに、将来都市像の実現に向けて、効果的・効率的に取り組むため、SDGsの視点を意識した施策の推進や本計画の進行管理の考え方を示しています。

選択と集中の視点から、将来都市像の実現に効率的かつ大きく貢献していく事業を重点化し、最小の資源で最大の効果をあげていくため、地方創生の視点も踏まえ、直面する「課題」に迅速に対応し、「魅力」を生かして成長・発展していくための2つの重点戦略を示しています。

また、重点戦略の基本的な考え方は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定の趣旨である「人口減少問題の克服と地方創生」と同じ方向性を示していることから、本計画の重点戦略を「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的なものとして位置付けています。

第3部 各分野の政策と施策

【105～196ページ】

将来都市像の実現に向けて、「コミュニティ・人権・多文化共生」「環境」「健康・スポーツ」「教育」「生活安全」「福祉」「子ども・子育て」「文化」「都市インフラ」「防災・消防」「経済・産業」の11の分野について、政策と施策を総合的・体系的に示しています。

第4部 各区の特性と将来像

【197～258ページ】

地域の特性を生かし、区民の声を聞きながら、区民と行政が共に地域のまちづくりを進めるため、10区の将来像とまちづくりのポイントなどを示しています。

第5部 質の高い都市経営の実現

【259～280ページ】

市民と行政の協働を基本として、各分野の政策と施策を効率的、効果的に推進していくための「市民協働・公民連携」「高品質経営市役所」に関する政策と施策を総合的・体系的に示しています。

目次

第1部 新たな都市づくりに向けて 1

■第1章 都市づくりの目標	2
第1節 計画策定の目的	2
第2節 さいたま市のこれまでの歩み	3
第3節 将来都市像	16
第4節 都市づくりの基本理念	18
■第2章 人口と財政の状況	19
第1節 人口の現状分析	19
第2節 目指すべき将来の方向と人口の将来展望	26
第3節 財政状況	30
■第3章 将来都市構造	34
第1節 将来都市構造の基本的な考え方	34
第2節 将来都市構造を構成する要素	36
第3節 土地利用の基本方針	44

第2部 計画の構成と推進 45

■第1章 計画体系	46
第1節 策定の基本的な視点	46
第2節 計画の構造と期間	47
第3節 計画の進行管理	50
■第2章 さいたま市の魅力と取り組むべき課題	52
第1節 後期基本計画における主な取組状況	52
第2節 さいたま市の魅力	69
第3節 さいたま市を取り巻く環境変化への対応	71
第4節 持続可能な開発目標（SDGs）を意識した施策の推進	82
■第3章 重点戦略	86
第1節 重点戦略の基本的な考え方	86
第2節 まち・ひと・しごと創生との関係	88
重点戦略1 「さいたま」の5つの魅力を生かして、成長・発展する戦略	93
重点戦略2 未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりを進める戦略	99

各分野の政策と施策の見方 106

- 第1章 コミュニティ・人権・多文化共生 108
 - 第1節 ふれあいのある地域社会の形成と活性化 110
 - 第2節 人権尊重社会の実現 112
 - 第3節 多文化共生社会の実現等 114
- 第2章 環境 116
 - 第1節 地域から取り組む「脱炭素社会に向けた持続可能な都市」の実現 118
 - 第2節 ともに取り組み、参加する めぐるまち（循環型都市）の創造 120
 - 第3節 人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造 122
 - 第4節 環境の保全と創造に意欲的に取り組む都市の実現 124
- 第3章 健康・スポーツ 126
 - 第1節 主体的な健康づくりの推進 128
 - 第2節 スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進 130
- 第4章 教育 132
 - 第1節 人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進 134
- 第5章 生活安全 140
 - 第1節 安全・安心に暮らせる生活環境の形成 142
- 第6章 福祉 146
 - 第1節 誰もが生き生きと長生きして暮らせる地域共生社会の実現 148
 - 第2節 誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現 150
 - 第3節 安心して暮らせる地域医療体制の実現 154
- 第7章 子ども・子育て 156
 - 第1節 子ども・子育てを支える都市の実現 158
- 第8章 文化 162
 - 第1節 生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造 164
- 第9章 都市インフラ 168
 - 第1節 人を呼び込み交流を促す都市インフラ 170
 - 第2節 質の高い生活空間を提供する都市インフラ 174
- 第10章 防災・消防 180
 - 第1節 災害に強い都市の構築 182
- 第11章 経済・産業 186
 - 第1節 新たな産業の創出と地域産業の振興 188
 - 第2節 観光の振興とMICEの推進 192
 - 第3節 持続可能で魅力ある都市農業の振興 194

第4部 各区の特性と将来像 197

●西 区	199
●北 区	205
●大宮区	211
●見沼区	217
●中央区	223
●桜 区	229
●浦和区	235
●南 区	241
●緑 区	247
●岩槻区	253

第5部 質の高い都市経営の実現 259

■第1章 市民協働・公民連携	260
第1節 多様な主体とともに進めるまちづくり	262
■第2章 高品質経営市役所	266
第1節 市民に信頼される開かれた市政運営	268
第2節 健全財政の維持	270
第3節 市政を支える職員の育成と働く環境の整備	272
第4節 ICTやデータを活用した新しい時代の行政運営	274
第5節 真の分権型社会を担う自主的・自立的な都市経営の実現	276
第6節 さいたま市の特長を生かした都市イメージの向上	278

資料編 281

1 総合振興計画の策定（改定）経過	282
2 総合振興計画審議会	287
3 まち・ひと・しごと創生有識者会議	300
4 総合振興計画策定（改定）に関する市民参加の取組	301
5 さいたま市次期総合振興計画の在り方に関する決議	307
6 議案第169号「さいたま市総合振興計画基本計画の策定について」に対する附帯決議	310
7 さいたま市区における総合行政の推進に関する規則	312

用語解説 315